

よみがえれ！
有明訴訟弁護団
(後藤 富和)発行
092-512-1636
090-9602-0700

超党派で諫早開門要求

自民公明も参加 院内集会

12月7日、衆議院第一議員会館で「よみがえれ！有明判決報告即時開門を求める緊急集会」が開催され、自民・公明を含む与野党の多数の国会議員ら約60名が参加した。



○大串博志(民主・衆) 福岡高裁開門判決は力強く喜びあふれています。民主党はマニフェストで

開門を掲げ政権交代を果たしました。赤松前農相も口蹄疫さえなければ、開門を決断していました。国会全体で今度こそ開門の決断をすべきです。これからの勝負です。判決を得てからが大事になります。原口一博議員は直接菅首相に開門を申し入れ、私も仙石官房長官、古川副長官に申し入れをしました。力を合わせて頑張りましょう。



大串博志議員(民主)

○野田国義(民主・衆) 民主党議員の一人として非力をお詫びします。農業用水の問題、防災の問題は解決できます。地元大牟田では塩害も起きていません。

○福岡資麿(自民・衆) 福岡高裁開門判決をよかつたと思う。かつて菅首相は開門に前向きな発言をしていたはず。赤松前農相も開門に向けて検討していた。山田前農相は口蹄疫終息後の参院選後と言っていた。鹿野農相はもはや引き延ばす合理的理由ない。一刻も早く国として開門の判断を示すべき。



福岡資麿議員(自民)

○木庭健太郎(公明・参) 公明党としても諫早湾問題の検討を続けてきた。第三者である裁判所の判断は重い結果として受け止めるべきだ。個人的にはただちに開門すべきと思う。入植者の一番の心配は塩害だが、判決は塩害がおこるという立証はないと明確に判示している。こうしたことも現地の営農者に伝えていきたい。



木庭健太郎議員(公明)

○中島隆利(社民・衆) 干拓事業に反対し続けて13年。漁民の苦しさを聞いてきた。与党の諫早湾干拓問題検討委員として現地視察などをして、その結果、赤松前農相が政治決着を決定した。しかし、現在はアセスを名目に開門を先送りされている。

○赤嶺政賢(共産・衆) 福岡高裁開門判決を聞いた時は喜んだ13年間の漁業者の苦勞を聞いてきた。今度

こそ政治は、この期待に応える努力をすべき。有明海の漁民が公共事業に頼らざるを得ない状況は、沖縄県民の状況に似ている。直ちに開門すべきである。

○高橋千鶴子(共産・衆) いまこそ政治決断をすべき。農業と漁業は開門によってこそ両立できる。海を閉鎖すれば汚染するのは当然のこと。有明海も諫早の水門を開けない限り汚染は解消しない。

民主党有明議連・福島社民 党党首・共産党議員団懇談

12月7日、原告・弁護団は、民主党「有明海の再生を考える会」(古賀一成会長)、福島みずほ社民党党首、日本共産党議員団との懇談を行い、有明海漁民がおかれた窮状を訴え、即時開門にむけて相互に努力することを確認した。

有明海の再生を考える会の古賀会長は「司法が2回連続で開門すべきだと判断したことは重く受け止めるべきだ」と政府・民主党に開門に踏み切るよう促した。4月に長期開門を求める座長報告案をまとめた政府・与党の検討委員会メンバーだった川崎稔参院議員も「有明海再生には早期開門しかない。あとは政府の決断だけだ」と述べた。有明海の再生を考える会は、この後、開門を求める要望書を政府に提出した。